

令和 6 年度 スポーツ相談窓口事業の取り組み及び障害者に関する相談について

1 4 月から現在までに取り組んだこと

月	取り組み事項	概 要
4月～5月	スポーツにおける障害者に関する調査を実施	体協加盟団体26団体を対象に実施
7月1日	足立区スポーツ相談窓口へ視察と意見交換	スポーツ振興課（2名）体協（2名）で「スポーツコンシェルジュ」視察
8月	市内公民館へサークル情報の提供依頼	公民館で活動する運動サークルの情報をいただく
7月～8月	相談窓口対応のために東京都初級パラスポーツ指導員養成講座受講	相談担当がスポーツ相談窓口事業の対応を広げるため、初級パラスポーツ指導員の資格を取得
10月16日	障害者サポーター養成講座 開催	障害福祉課のご協力のもと 体協加盟団体と体協理事を対象に開催
10月	ピアZZア アカウント取得	サークルや競技団体の情報募集の呼びかけ
毎月	スポーツ相談窓口専用LINEでの広報	毎月障害者も参加できるENJOYニュースポーツを中心に、1件から2件の情報発信

2 障害者に関する相談について

8月	男性	電話	発語に課題がある方から連絡があり、聞き取りは理解されているようだが相談内容が聞き取りづらいため、きらっと内の相談窓口への来訪し、筆談等での相談をお勧めしました。
10月	男性	メール	相談窓口開設当初に、障害者サッカー教室を立ち上げたいと窓口へ来訪された方へ、経過確認のために再度連絡をしました。現在学校へ通われていて今年度3月に卒業されるらしく、落ち着いた頃に相談窓口へ来訪をお願いします。
11月	ご両親	来訪	息子さんが高次脳機能障害になり、現在身体を動かせる場所、施設や団体を探しているとのことで来訪。調布市パラスポーツセンターをご紹介します、また新たに情報を収集をしておご連絡することに。東京都障害者スポーツ協会へ問い合わせ、情報提供を依頼。東京都障害者スポーツセンター、東京都多摩障害者スポーツセンターをご紹介します。また、市内のスポーツセンターにて実施されている障害福祉課主催の『かわうそ水泳教室』をご紹介します。その後、田無公民館『あめんぼサークル』、西東京市手をつなぐ親の会（ご希望があったため）をご紹介します。